

校区活動事例

長住校区：学校で遊ぼう！

期 日	令和元年8月18日（日）		
場 所	長住小学校 体育館 運動場		
参加者数	小学生24人 大人30人		
主 催	長住校区青少年育成連合会		
協力団体	小学校PTA、子ども会育成連合会		
準 備	広 報	周 知	小学校を通して案内文配布
		募集方法	PTAで集約
	事前打ち合わせ	回 数	会合2回のほかLINEで打ち合わせ
		時 期	5月～7月
		内 容	プログラム立案、募集内容確認、参加人数確認、福岡市科学館との打ち合わせ

■事業概要・目的

普段通っている小学校を使って、夏休みにしかできない非日常の体験を行いました。子どもと地域の大人の交流を深めました。

■事業実施にあたって工夫した点、苦労した点

目玉企画として、福岡市科学館の講座に申し込み「超低温の世界」を実施しました。野外炊飯では火を使うため、安全確保のために手伝える大人を多く集めました。猛暑への対応には水分補給などに気を使いました。

■事業の成果、課題

福岡市科学館企画の「超低温の世界」では瞬間凍結させた小松菜を手で潰す体験や、風船を液体窒素につける実験など、普段できないことを経験できて子どもたちは興奮していました。

空き缶2個をかまどと鍋にした炊飯では、火の扱いに苦戦していましたが、美味しく炊けたごはんを食べたカレーには大喜びでした。

子どもの参加人数を増やしたいのですが、安全管理上、現状が適当な人数と考えています。また、夏休みには色々な行事の予定があり、実施日についても検討課題です。

今年は、保護者や地域の方の手伝いが多く、大変助かりましたが、おやじの会をはじめ父親の参加が確保できると、もっとダイナミックなプログラムも検討できます。将来はテントを使った宿泊を考えたいと思います。



メガネと手袋をして
「小松菜を液体窒素に入れると…」
どうなったかな？

夏の風物詩「すいか割り」
なかなか割れません！



空き缶で作ったかまどで炊飯
煙との闘いです

